

シシ・ニコニコ落語録其ノ十

東方落語「禁弾門番」

ごあいさつ

このような所までようこそおいでくださいました。紅亭彩虹でございます。
とまあお決まりのご挨拶はそこそこに、今回のネタの解説とかもろもろに入りましょう。

今回の元ネタは古典落語の「禁酒番屋」でございます。

最初にやった時には、ほぼ原典に沿った流れにしておりましたが、今回再びやるに当たってネタを考え直したのです。元ネタでは、関所の外から中にご禁制の物品を持ち運ぶというネタなわけですが、ふと考えているうちに思ったのです。

「関所なら中から外に出るものも調べるもんじゃない？」

はい、これを思いついたことで最初の台本が消し飛びました。

大まかな流れとかの大黒柱は変わってないのですが、台本自体は全部書き直しです。

しかし、書き直した分やりたいことは出来たんじゃないかなあ、と思っています。

そんな手間の苦労話はともかくですが、このネタ自体には割と思い入れがあったりします。というのも、私の芸名であります紅亭彩虹という名前は、東方で最推しのキャラである紅美鈴さんのスペルカード「彩虹の風鈴」から、当時名も知らぬニコ生のリスナーさんにつけていただいた名前でございます。以来、都合10年近くこの名前をオタ活での名前として愛用してきたわけです。いやあ、改めて書くと感慨深い。

そんなわけで、最近めっきりとウマ娘やらに浮気していた私が、久しぶりに紅美鈴さんを演じたりなんだりして、古巣に帰ってきたようなそんな安心感がありました。そんなわけだから、最近オグリキャップやらタマモクロスに御執心な私を美鈴さんは許してくれるだろうか、許してくれるね、グッドトリップ。

さて、世間の状況は相も変わらずきな臭いものではございますが、冬コミが開催されたりと、少しずつ元の姿に戻りつつある感じもあります。なので、またどこかでこんな奇特なものを聞いてくださるような数奇者の皆さまとまた相まみえる日が来ることを心より楽しみにしております。なので、コミケに出てたらみんな新作とか買いに来てね。なんなら既刊でもいいのよ？これは露骨なマーケティングではなく、ジッサイニコニコラクゴキョカイとは無関係。いいね？

ということで、そろそろお別れのお時間でございます。

では、またいつかお会いしましょう。

紅亭彩虹でございました。

※ご注意

本作品にある全てのコンテンツは無断転載禁止です。